



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2011~2012)

・ 国際協会会長 Finn A. Pedersen (ノルウェイ)
『Audere est Facere - To dare is to do』
「とにかくやろう - 成せば成る」

・ アジア地域会長 Wichiane Boonmapajorn (タイ)
『Audere est Facere - To dare is to do』
「とにかくやろう - 成せば成る」

スローガン 『Mission with Faith』
「信念をもって使命を果たそう」

・ 西日本区理事 浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)

『ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献』
「Contribute to Community through Active Services with Love」

副 題 『理想を目指して変革と行動!』

「Change Ourselves and Take Actions Our Lofty Goal」

・ 六甲部 部長 森 紘一 (神戸学園都市クラブ) 『伝統を守り、若返りを図ろう!』

副 題 「もっと楽しく、もっと活発に!」

・ 西宮クラブ 会長 瀧崎 進一 『皆で知恵を出し合い、行動して行こう!』
「Let's create wisdom each other, and let's act up to all member's Y'sdom!」

・ 2011年7月 西日本区強調ポイント "Kick off" "EMC - C"

「メンバー一人ひとりの小さな一歩は、クラブの大きな一歩となるでしょう。新しい自分のために、未来のために、まずはその一歩を踏み出しましょう!」 大岩 英人 EMC事業主任(京都グローバルクラブ)

2011年7月

759号

65期-01号

since 1948.5.17

スポンサークラブ
大阪クラブ
DBC 締結
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会 長 瀧崎 進一
次期 会長 長井 慎吾
直前 会長 馬場 一郎
副 会長 山本 常雄
書 記 浅野 純一
書 記 阪根 新
会 計 岩田 健司
会 計 足立 康幸
監 事 清水 彬久
担当主事 三島 浩司
部交流主査 馬場 一郎
区交流主任 廣瀬 一雄

2011年7月第一例会のご案内

日時: 2011年7月15日(金) 19時~

場所: 西宮YMCA保育園3階ホール

ドライバー: 岡田佑一郎メン、清水彬久メン

1. 開会点鐘 馬場直前会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. 会長・役員引継ぎ式 馬場直前会長・瀧崎会長
5. ゲスト・ビジター紹介 瀧崎会長
6. 食前感謝
7. 会食 一同
8. ゲスト・ビジター挨拶・アピール 森六甲部長他
9. 今期の活動方針・活動計画 瀧崎会長
今期の会計予算・報告・監査 足立・岩田会計
10. 岩手・宮古東日本震災地域訪問記 馬場メン他
11. お誕生日のお祝い
12. Y's ニュース・お知らせ 瀧崎会長他
13. YMCA 報告 三島主事
14. 閉会点鐘 瀧崎会長

ファンド・BFの累計	6月	累計
ニコニコファンド	2,000p	42,602p
Brotherhood Fund	5,400p	40,800p
使用済切手	0g	800g
東日本大震災支援ファンド	3,600p	7,200p

今月の聖句

『自分を低くして、この子供のようになる人が、天の国でいちばん偉いのだ。わたしの名のためにこのような一人の子供を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。』

マタイによる福音書 17章4節 - 5節
清水彬久メン 選

6月 例会出席状況 在籍会員数 22名

第1例会(6.17金) 第2例会(6.3金)

メン 19名 メン 12名

メネット・コメット 2名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 0名 ゲスト・ビジター 0名

合計 21名 make-up 1名 合計 12名

出席率 90.9% (累計出席率 93.4%)

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

7月 8日 岩田 成子メネット

7月 16日 瀧崎 保津美メネット

7月 20日 藤原 百合子ウイメン

〒662-0977 西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 第3金曜日 19時~

TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南

西宮クラブホームページURL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

西日本区ホームページURL: <http://www.ys-west.or.jp>

- 今月のダイジェスト -

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 会長メッセージ 濱崎進一 会長……………1 2. 第一例会報告 馬場一郎 会長……………2 3. 交流事業主任だより 広瀬交流事業主任……………3 4. 第14回西日本区大会開催 小野勅紘 会長……………4 5. 六甲部E P Jについて 山口政紀 会長……………5 6. 神戸YMCA 125年を振り返って
長井慎吾 125周年記念事業実行委員長……………6 7. 西宮・宝塚リーダー会だより 田中理沙 リーダー……………7 8. 各種報告 <ul style="list-style-type: none"> Y's ニュース 濱崎進一 会長……………7 YMCA 報告 三島浩司 主事……………7 西宮YMCA 保育園だより 三島浩司 園長……………8 | <ul style="list-style-type: none"> 9. 寄稿コーナー <ul style="list-style-type: none"> 「音を重ねる日々は心を重ねる日々に47」
楽団“あぶあぶあ” & ミュージカルチーム
“LOVE”代表 ひがしのようこさん……………9 東海道五十三次ワイズ栗毛珍道中8
小野勅紘 会長……………9 水の流れのままに(俳句) 44
小野勅紘 会長……………10 10. 今後の予定……………10 11. もりおかクラブプリテンより……………11 12. 編集後記……………11 13. 西日本区理事通信(7月号)……………12 |
|---|---|

2010-2011年度西日本区大会(京都)開催

各事業表彰リスト

献金100%達成賞(Yサ・ユース事業)、 ノンドロップ賞(EMC事業)、 出席率90%達成賞(EMC事業)、 BFポイント100%達成賞(ファン事業)

【参考：他クラブの主な表彰】 奈良傳賞：林 秀彦(奈良クラブ)、 理事最優秀クラブ賞：京都パレスクラブ、 理事最優秀ワイズメン賞：今井 利子(なかのしまクラブ)、 理事プリテン最優秀クラブ賞：宝塚クラブ、 【各事業最優秀賞】 Yサ・ユース事業：大阪高槻クラブ、 地域奉仕・環境事業：京都パレスクラブ、 EMC事業：京都パレスクラブ、 ファン事業：和歌山クラブ、 交流事業：瀬戸山陰部、 広報事業：和歌山クラブ、 ネット事業：姫路クラブメネット 【敬称略】

会長メッセージ



濱崎進一 会長

西宮クラブの皆様、今期2011 - 2012年度の会長のお役目を担当させていただきますことになりました濱崎進一です。少し自己紹介をさせていただきます。名前

の最初の「濱」の字は濱さんと同じ字で、次の「さき」はよく使われる「崎」ではなく右の部分が「立」になっている「崎」を使います。私も余島キャンブリーダーのOBで、仕事はダンブカーやコンクリートミキサー車などの建設車両の会社の営業担当を長く勤めました。今期は皆様と楽しく充実したクラブ活動にしていきたいと思っています。

さて今期の会長の活動方針・計画として、次のような4目標を掲げました。

1. 興味あるプログラム(例会)を計画、継続する。
2. YMCAサポートのあり方を再考する。
3. 東日本大震災への支援。

4. メンバーの増強。

実は1、2、4項目は、馬場直前会長の前期の活動方針と内容が同じです。私も活動方針を色々考えましたが、クラブ、グループなどで1年間に数個の活動方針を掲げて計画を実行しても、期の最後にチェックしますと、時間が足らず十分な成果を上げずに終わることが少なくありません。前期からの方針、計画を確実に継続する事で内容を深めていく方がクラブにとっては良いのではないかと考えました。

さて、今月は第1項目について、私の考え方を少し述べてみたいと思います。なお第2項目以下は次月以降に順次述べていきます。

私は会長の就任要請を昨年10月ごろから受けていました。私は西宮クラブに昭和61(1986)年に入会し、既に25年が経過していますが、この間現役当時の仕事が営業畑でしかも担当が和歌山、奈良など時間が掛る地域などの理由で例会の出席が思うように適わず、皆様には歯がゆい思いをさせてきたものと思います。

幸い私は仕事の方もリタイアし、比較的時間が取れるようになりまして、昨年末より例会(第1、2)に積極的に

出席し、例会プログラムを検討、実行していく中で、出席者の皆さんの活発な意見交換により充実した例会が行えているように思いました。

ところで現在、西宮クラブのメンバーの特徴は、昭和58(1983)年入会の山口(政)さんを筆頭に、メン、ウイメン合計で、今年度に入会された石井さん、山口(吉)さん、万本さんの3名を加えて22名。年齢構成では30代2名、40代2名、50代2名、60代16名と高齢化が目立ちます。一方職業別では会社役員、会社員、個人経営者、福祉関係、官庁関係の方など種々の職業で構成されています。

例会のプログラムを充実するには、メンバーの色々なアイデアを持ち寄り、テーマ、内容をより深く検討し、充実ある例会にしていきたいと思っています。第2例会は役員会も兼ねておりますが、議題内容で例会の話も大切な議題です。役員、担当ドライバーだけで検討するのではなく、メンバーの皆さんには数多く出席していただき、多くの意見を頂き、より良い例会にしていきたいと思っております。

私はワイズ暦では長老の部類に入りますが、ワイズ活動ではまだまだ未熟な会長です。従ってこの際、皆様には少し甘えさせていただき、皆様のお力で何卒この会長が大きく成長出来ますようお願い添え戴きますれば幸いです。今年1年間どうぞ、よろしく願いいたします。

例会報告(6月)

ドライバー 馬場 一郎会長
 広瀬 一雄メン

日時:2011年6月17日(金)19時~

会場:西宮YMCA保育園3階ホール

出席:浅野、足立、石井、岩田、岡田、小野、清水、堤、長井、濱、濱崎、馬場(一)、馬場(貴)、廣瀬、万本、三島、山口(政)、山口(吉)、山本の各メン、ウイメン。宮地、山口(洋)の各メネット。出席19、出席合計21名。

今期の評価と次期方針計画、また今期の仮決算、次期予算を審議する6月例会が開催された。今期最後の馬場会長開会点鐘に始まり、ワイズソング、食前の感謝、食事の後、馬場会長より、今期の評価が別紙資料に基づき発表された。



今期最後の開会点鐘で開会宣言する馬場会長

今期は特に例会の充実に力を入れたが、その評価として出席率のアップにつながった。また例会内容の決定までのプロセスをシステム化し、その流れも機能して、例会の準備もうまく行われた。賀川記念館や須磨での納涼例会やクリスマス、またリーダーとの交流会も行うことができ、楽しい、いい交流の時が持てた。計画に上げた西宮YMCAのサポートクラスの支援、東北大震災の継続的な支援は、積み残しとして次期濱崎会長と共に考えていきたいとのことであった。

その後、濱崎次期会長より、別紙資料に基づき、次期方針・活動計画が発表され、興味ある例会、サポートクラスの支援を考えること、東北大震災の支援など今期の活動を次期も継続することが確認された。また震災支援にもつながる新規ファンドを考えていきたいことも発表された。

次に足立会計より、今期の仮決算、次期予算が発表され、来年度開園される西宮YMCAの2番目の保育園への寄贈や、今後の東北支援についての予算も協議されたが、もう少し計画が固まってから、補正予算を組みたい旨で報告された。

以上、今期評価、次期方針計画、次期予算、今期仮決算ともに承認され、次期へのバトンタッチがなされた。

その後、盛岡、宮古への訪問について馬場会長より、再度目的、予算、スケジュールが説明され、クラブでの送り出しが確認された。

引き続き、お誕生日のお祝い、ワイズニュース、YMCA報告と進み、今期最後の閉会点鐘となった。

2次会は、「金豚しゃぶ」にて東北行きの壮行会が行われ、東北に行く3人の明日からの疲れも考慮されることなく大いに盛り上がった。みなさんの気持ちも持って行っていきます。(馬場一郎)



金豚しゃぶで持たれた壮行会の様子

【参考】誕生日のお祝い品とミニバナーについて

新入会者ならびに昨年11月来誕生日毎に贈呈されてきたミニバナーは大方行き渡ってききましたが、残り7月(藤原ウイメン)、8月(清水メン、馬場(一)メン)、9月(岩田メン、宮地メネット)を残すのみとなりました。今回岩手盛岡・宮古方面支援の先遣隊に先方での交流用としてミニバナーを5枚山本メンに託しました。残りは今後交流用としていくことになりますが、当面8月に台湾で開催されるアジア地域大会にも持参され交流に利用されることとなります。残り少なくなったミニバナーは次期に予算を取って追加注文していきたい。

交流事業主任だより1

2011 - 12 交流事業主任 廣瀬 一雄メン

前回までの「西日本区だより」を今回から「交流事業主任だより」と名称を変更いたしました。

それはというのも、去る6月10日から京都で第14回西日本区大会が開かれたからです。10日金曜日はウエスティン都ホテル京都の葵殿で前日夕食会が開かれ、素敵な四重奏を聴きながらのお食事会でした。



西日本区大会前夜祭の様子

11日土曜日は京都市国際交流会館での第2回準備役員会に出席。各部長さまに西日本区/東日本区DBC・IBC関係図のCD版をお配りしました。その後イベントホールでの年次代議員会に出席しました。午後からホテル瑞穂の間での大会1日目。第1部はオープニング。各部ごとの整列で馬場一郎会長も六甲部で2番目。おごそかに、かつ

賑々しくバナーセレモニーの始まりです。第2部は西日本区アワー。理事報告、代議員会報告、奈良傳賞授与式、部長報告、事業主任報告・表彰式が執り行われました。午後7時から懇親会。盛りだくさんのステージのうち、来年第15回の西日本区大会のアピールがびわこ部のメン、ウイメンからありました。午後9時半からは会場をコスモスホールに移しフェロシップアワーで更なる懇親を深めました。



浅岡理事キャビネットの皆さん

12日日曜日午前7時半から聖日礼拝。司式は上賀茂教会の兼松豊牧師。声に聴き覚えがあるなと思ったら、昨年同志社のハーティホールでの兼松豊のファミリークリスマスのおおじさんでした。礼拝途中で別会場でのIBC・DBCの締結式の会場へ。締結があまりにも多くて通常のスケジュールにはまらない様子。平野交流事業主任さん、仁科理事さん、皆さんご苦労様。



岩国と鹿児島クラブの薩長同盟締結風景

午前9時から西日本区アワー。IBC・DBC締結報告、設立クラブ報告、理事表彰、理事引き継ぎ式、役員交代の式などお昼近くまで。

石倉実行委員長の謝辞、YMCAの歌斉唱、仁科理事の閉会宣言・閉会点鐘で西日本区大会は無事終了。

お昼は近江八幡・広島クラブのみなさんと銀閣寺そばの「名代おめん」で美味しいうどんを食しながらの懇親会を持ちました。このDBC3クラブから次期は近江八幡クラブからは、理事はじめ理事キャビネット、広島からは藤川ユサ・ユース事業主任、西宮クラブからは廣瀬交流事業主任を

輩出するので、これらの皆さんの激励も兼ねての懇親の一時であった。



平野交流事業主任から事業主任のバッジを装着される廣瀬交流事業主任（舞台中央）



西日本区交流事業委員会・研修会開催(6.26)

6月26日には第1回交流主査研修会と交流事業委員会を新大阪で開催し各部交流主査のみなさんと研修会を、終了後は懇親会をもたせていただきました。



一同に会する交流主査のみなさんと直前・現・次期交流事業主任

第14回西日本区大会(京都)開催

小野 勅紘メン

6月11日～12日の間、2010 - 2011年度第14回西日本区大会が京都は蹴上の都ウェスティンホテルなどで開催された。今回の西日本区大会は昨年の「いのち・平和」といった使命を持った広島大会に比べて、大きなミッションはなかったのですが、急遽3.11の東日本大震災の発生によりその支援色が大きく出ていました。詳細は廣瀬交流事業主任からの報告にお任せして私は今回は大きな任務から解放された一般参加者としての感想やメネットアワーを中心に報告いたします。

まず大会会場には、東日本区から支援グッズを販売する鈴木健二東日本区事務所長の姿があり、震災支援Tシャツや支援募金には缶バッジが置かれていてその関心の高さに気づきます。

最初に、メネットアワーが行われ、坂本千春メネット事業主任からの各地における活動報告と会計報告、各主査や各クラブのメネットさんの活動に対してのお礼と挨拶がありました。豊島(てしま)の乳児園に車を贈る運動は思いのほか大きな支援があり、石原園長へは大会の中でその車のキー(メネット主任キャビネットの手作り)が贈呈された。詳細は今期のメネット報をご覧ください。

なお、多くの議論のあった支援金については全体で270万円余り集まった内の50万円が、東日本大震災のために島田同盟総主事に寄贈され、残りの220万円(内軽トラックは130万円)が乳児園に贈呈された。このように、今期のメネット事業は大きな成果を残し次期の大澤玲子次期メネット主任(熊本ひがしクラブ)にバトンタッチされました。



メネットアワーでの華やかなデコレーション(各部のメネットさんが作成して持ち寄り)

次期メネット事業主任の主題は急遽「東日本大震災で被災した子供たちを支援する」というテーマに変更されて活動を始動することになった。

さて、今回の西日本区大会は例年の恒例行事に従って進み、懇親会では大太鼓が飛び出し950名と過去最高の賑わいを見せた大会となった。昨年に比べて大きなキャンペーンがなくても大盛況であったのは、さすが京都部のパワーはすごいという感想でした。特に講演やキャンペーンもない大会で人数の割には質素であったと思うのはやはり、震災の影響でしょうか。出色はバナーセレモニーでは全クラブのバナーが会場の両サイドを華々しく飾り、昨年時間がなく出来なかった広島大会の夢を実現していただいた。

翌日は理事表彰と理事・役員引継ぎ式が粛々と行われ、仁科保雄理事から浅岡徹夫理事に引継がれた。



西宮クラブ馬場会長のバナーセレモニー

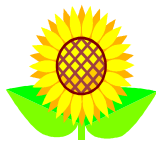


2011 - 2012年度西日本区浅岡理事の就任式



浅岡次期理事の就任決意・活動方針などの発表

なお各種表彰内容は冒頭の表彰リストならびに西日本区HPの内、「書庫」「西日本区各種データ」「表彰リスト」をご覧ください。



六甲部EPJについて

- 六甲部に新しいクラブを生みだそう -

EMC委員長 山口 政紀メン

6月28日神戸YMCA三宮会館で六甲部次期森紘一部長の召集で「EPJ」の集まりがありました。6月第一例会でもお話しましたが、西宮クラブから山口政紀が出席しました。正式には7月9日の六甲部第1回評議会で第1回「E

PJ」の報告があると思いますが、簡単に報告いたします。

六甲部長の標語にもありますように「ワイズの種を蒔こう」を言うことで「EPJ」が発足しました。2011 - 2012年度六甲部長の活動計画の重要テーマとして「六甲部に新クラブを設立するためのプロジェクトチームの発足」があります。

六甲部EPJとは：六甲部に新クラブを生み出すことを目的とするExtensionの検討Projectチームの略称です。

芦屋クラブの発会から12年、六甲部に新しいクラブの誕生が期待されています。また将来のワイズメンズ候補者を六甲部全体で発掘し、主幹クラブを支援するのが意図です。活発な意見の交換がありました。この検討プロジェクトチームは継続して開催されます。特に強調したのは過去の事例(消滅したクラブなど)を学びつつ前進しようということです。西宮クラブの皆様のご意見を頂ければと願っています。

(山口政紀)

六甲部EPJキックオフ会議 資料 2011.6.7

2011-2012 六甲部長 森 紘一

1. 六甲部EPJとは：六甲部に新クラブを生み出すことを目的とするExtensionの検討Projectチームの略称。

2. EPJの位置付け：

* EPJは、目的を達成するための具体的な活動方針、活動計画を策定し、これを六甲部長に答申する。

* 六甲部長は六甲部組織を動員し、これを実行する。必要な場合、EPJメンバーも実行組織に加える。

* 2011 - 2012年度内に新クラブ設立が完了しない場合は、2012 - 2013年度に継続する。

3. EPJ設立の背景：六甲部としては、組織の衰退化傾向に歯止めをかけ、活性化をはかるために2009 - 2010年度(大田部長)は六甲部2000中期計画を標榜し、5年間で六甲部会員数を200名まで持っていくことを目標とした。2010 - 2011年度初めの現状としては、143名であるため、今後に残る3年間で57名の増員が必要であり、1クラブあたりにすれば7名の増員目標となる。各クラブには今期もこの目標達成に向けての強力なMembership活動の推進をお願いしているが、一方Extensionについて見れば1998年に芦屋クラブ設立以降は12年間も新クラブ設立が無い状況にあり、新クラブ設立のノウ

ハウや意欲が消失していることが危惧される。従って、六甲部の総力を結集して、新クラブ設立の気運を盛り上げるためにE P Jを設立するものである。

4. E P Jの構成メンバー

・プロジェクトリーダー:鈴木誠也

(神戸ポートクラブ、09 - 10西日本区理事)

・プロジェクトメンバー:

大塚章信(神戸クラブ、07 - 08六甲部長)

山口政紀(西宮クラブ、08 - 09六甲部長)

大田厚三郎(神戸西クラブ、09 - 10六甲部長)

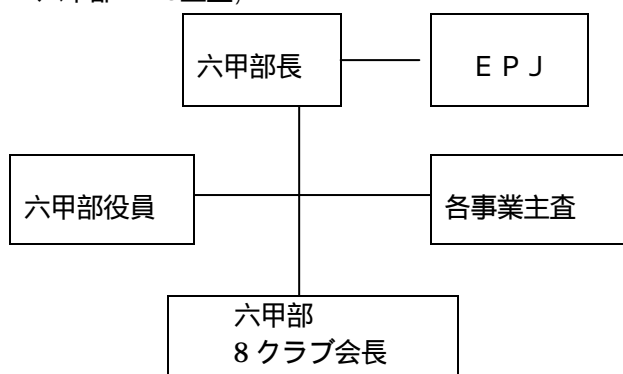
安行英文(さんだクラブ、10 - 11六甲部長)

森紘一(神戸学園都市クラブ、11 - 12六甲部長)

飯田義雄(芦屋クラブ、12 - 13六甲部長)

・プロジェクト事務局:福田宏子(宝塚クラブ、11 - 12

六甲部E M C主査)



(その13)
神戸MCA125周年記念事業実行委員長
長井 慎吾

125周年に際し活動の原点を振り返るため、神戸YMCA125年の先達の偉業をレビューしています。

今回はヨットクラブの活動に関してです。私は個人的にヨットが好きで、よく西宮ヨットハーバーへ行っていました。神戸YMCAヨットクラブの艇庫を遠目に見ていましたが、活動に触れたことはなく存在を知っていた程度です。1951年に神戸YMCA体育部主催のヨット講習会が西宮港で開催したのが始まりとのこと。ヨット

の大衆化、YMCA活動の啓蒙、館外への発展を目指したもので、指導は当時大阪工業大学の学生であった石合靖民氏に依頼しました。ちょうど、余島キャンプのプログラムにヨットを取り入れようと、ディンギー(2人乗り)を2艇購入したところでした。この2艇での講習会は、1954年には延べ200名を越える参加者を数え、その中の17名を中心にヨットクラブが生み出されました。ヨットは現在でも余りメジャーなスポーツではありませんが、自然が相手の奥の深い、青少年の育成にはよいスポーツであると思います。国際性を活かし、戦後間もなく導入に手掛けたことはさすがに神戸YMCAであると感心しました。

さらに、「神戸YMCAのヨットクラブは、人があってヨットのないクラブとして発足した。YMCA活動は人を中心とするものであって、物や施設を中心とするものではありません。それはYMCAの活動は運動であるから」と伝えています。この精神はすべての活動に通じるものであると思います。クラブはその後、艇庫を持ち、クルーザー(キャビンのある大型艇)・タリホー1世を購入し発展します。

しかし、結成後10年を経過する中で、晴天の霹靂の事故に見舞われます。1963年西宮沖にて練習中に2名のメンバーが遭難し命を落としたのです。海況は晴天、風力3、波高0.5mとありますので、少しキツイですがセーリング日和であった。常識外れな行為をしていたのではなく、通常の練習時にさまざまな悪条件が重なった不幸な事故だったのではないかと想像します。クラブはこの遭難をきっかけに、救助艇の建造やルールの確立を行いました。さらに、この悲しみに追い打ちをかけるように1964年9月に台風で艇庫とクルーザーを失い、クラブの財産が根こそぎ失われたのです。



たび重なる苦難にも負けず、クラブは新たな艇庫の建設を目標に努力し、1966年に新たなクラブハウスが完成し、その年に県下最高の名誉である兵庫県スポーツ賞を受賞しました。悲しみを乗り越えたメンバー

の情熱のなせる業であったと敬服します。現在のクラブハウスは、新西宮ヨットハーバーの中にあります。ヨットハーバーはクラブ例会で使用したことはありませんが、ヨットクラブとの交流はありません。同じ西宮を拠点とする活動なので、一度クラブで訪ねてみたいものです。

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 田中理沙さん
ワイズメンズクラブの皆さん、いつも西宮・宝塚YMCAリーダー会をご支援いただきありがとうございます。

6月12日には、私が所属するエルマー(幼児)の6月例会が須磨海浜水族園で行われました。すっきりしない天気でしたが、子ども達が楽しみにしていた水族園ということもあり、子ども達はリーダーの顔を見ると、嬉しそうにあいさつをしてくれました。珍しい魚や、ラッコやペンギンなどを見て、リーダーだけではなく、グループのお友達との間でも「すごいね！」などの会話が見られました。水族園を見た後にグループごとに取り組んだクラフトでは、ハサミやペンの貸しあいも、子ども達の自発的な声かけによってできており、とても嬉しい気持ちになりました。4月の子ども達の様子から比べると、格段と子ども達同士の関わりが増えているのが分かります。今後の活動の中で、更にお友達同士の関わりが深くなり、心身共に豊かに成長することを楽しみにしたいと思います。また、その成長を最大限に引き出せるよう、リーダーとして頑張っていきたいと感じました。リーダー会一同、子ども達の笑顔のために活動していきますので、今後ともご支援よろしくお願い致します。

Y'sニュース

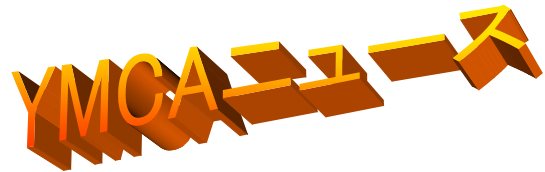
濱崎 進一 会長

- ・7月9日(土)六甲部第1回評議・EMCシンポジウム
13:20~17:00 神戸YMCA1階チャペル
予定されておられる方はご出席下さい。(終了後8月19日の合同納涼例会の打合せを行います。)
- ・8月12日(金) 19:00~、グリーンホテル神戸
第1回六甲部西部4クラブ合同納涼例会
(神戸、神戸西、神戸ポート、神戸学園都市各ク

ブ) 会費:3000円

- ・8月19日(金) 18:00~、宝塚ホテル
第4回六甲部(東部)4クラブ合同納涼例会
(西宮、宝塚、さんだ、芦屋各クラブ)今年度の幹事はさんだクラブ、会費:未定、[西宮クラブではこの合同例会を第一例会に兼ねますので西宮クラブの皆様是非ご参加下さい。](#)

- ・今夏は大震災、猛暑の中の節電と大変な時ですが、力合わせて乗り切りましょう。
- ・西宮クラブから盛岡・宮古方面の震災被災地域を訪問した3人の方々の活躍が掲載された「もりおかクラブ」のプリテンがDBCの芦屋クラブを経由して届いております。インターネット、メール便などで確認下さい。



西宮YMCA 三島浩司メン

梅雨の中休みか、毎日厳しい暑さが続いています。この暑さの中、9月になっても厳しい暑さが続いた昨夏のことを思い出しました。昨夏の暑さは、統計が残っている1898年以降で最も暑かったそうです。それまでの最高は1994年。全国的な湯水による断水等で大変な夏でした。1994年の夏、私は沼島キャンプ場の担当ディレクターをしており、夏のほとんどを沼島で過ごしていましたが、暑さと水不足で毎日大変だったことを思い出します。リーダー達と色々知恵を出し合って食事の野外メニューを工夫して食器の数を減らしたり、トイレのタンクの中にペットボトルを入れたり、シャワーの水を貯めてトイレまで運んで使ったり…。本当に色々な工夫をして何とか乗り切りました。

次に思い出すのは2006年夏の暑さ。この年も異常に暑く、家島のキャンプでは、熱中症対策としてスポーツドリンクを大量に持参したことを思い出します。

そして、今年は本格的な夏を前にした厳しい暑さの中、6月20日から26日にかけて熱中症のため救急搬送された人が全国で2996人に上り、搬送直後に7人の方が亡くなったそうです。震災の影響による全国的な節電ムードの中、暑さを我慢し、エアコンの使用を控えるなどして体調を崩している人もいるのではないかと思います。

YMCAでは、今夏のキャンプのメンバー募集を行っていま

すが、昨年、一昨年を若干上回る申込者数となっています。また、水泳や体育の講習会などにも多くの子ども達が参加する予定です。これまで以上に十分暑さに気をつけながら、全てのプログラムがメンバー、リーダー、スタッフそれぞれの心に残るものとなるように祈りたいと思います。

今後の予定

1)第26回午餐会

仙台YMCA支援センター本部長の村井伸夫さんを神戸にお招きし、仙台YMCAの活動から見てくるものについて学びますので、是非ご参加ください。

日時：7月2日(土)12:00~14:00

場所：神戸YMCA4F「サイコー亭」

報告者：村井伸夫さん(仙台YMCA)

会費：1,500円(含：昼食代)

申込：神戸YMCA本部事務局(福井・藤井)

TEL:078-241-7201

2)第23回チャリティーワインを味わおうの会

今回のチャリティーワインは「東北の食材とワインを味わおう」ということをテーマに、ポートピアホテルのソムリエ、岡本博文さんがセレクトしたワインと食事を楽しみ、東北を応援する集いです。是非ご参加ください。

日時：7月8日(金)18:30~20:30

場所：神戸YMCA4F「サイコー亭」

参加費：6,000円

申込：神戸YMCA ウェルネスセンター-学園都市

(辻田)TEL:078-793-7401

3)災害ボランティア・市民学習会

神戸市社協・コープこうべと協働で、現地ボランティアセンターの現状・実践報告を伺い、今後の活動につなげるための学習会です。是非ご参加ください。

日時：7月16日(土)13:00~16:00

場所：あすてっぶ KOBE セミナー室1・2

神戸市中央区橘通3丁目4番3号

「神戸市男女共同参画センター」

TEL:078-361-6977

講師：後藤至功先生

(佛教大学福祉教育開発センター)

古澤良一先生

(仙台市津波災害ボランティアセンター副センター長)

申込問合せ：神戸YMCA

西宮YMCA保育園だより

三島浩司メン(保育園園長)
(西宮YMCA保育園だより6月号より)

6月の主題：動き出す

4月に新しく入園した14名の子ども達、また、進級した子ども達も新しい保育園、クラス、お友達、先生にも慣れ、泣き顔が少なくなって、代わりに笑顔が多く見られるようになって来ました。心も体も緊張がほぐれてきた子ども達からは、これまで見せなかった行動や発言がたくさん飛び出していきます。中には、保育者や保護者の方々までもが「ドキッ」とするようなものも。

子ども達はこれからどんどん新しい挑戦を始め、その挑戦の向こうにある「成長」に向かって進んでいきます。この新しい挑戦の全てが上手くいくことはありませんし、望ましいものでもありません。時には失敗し、友達とぶつかったり、保育者や保護者に注意されたりする事もあります。

けれども、私達保育者や保護者は、望ましくない挑戦を目にした時に、子ども達が、次の新しい挑戦をしなくなってしまような注意の仕方はしないようにしたいものです。これはなかなか難しい加減だと思いますが、望ましい挑戦はどんどんほめて認めてあげる。望ましくない挑戦は、我慢強く、辛抱強く。子どもをダメにする言葉とよく言われるものに「きちんとしなさい。」「さっさとしなさい。」「前にも言ったでしょ。」「などがありますが、このような言葉は、「あまり上手に出来ない・・・。」「そんなに早くできない・・・。」「また失敗してしまう・・・。」と子ども達が萎縮して「動き出そうとする力」を奪い取ってしまいます。「下手でもいい。」「ゆっくりでもいい。」「失敗してもいい。」から挑戦し、動き出すことを楽しめる子ども達であって欲しいと思います。

「いい子にしていないとサンタさんからプレゼントがもらえないよ。」と少し季節外れですが、このような言葉を耳にしたことはありませんか。けれどもこれは間違っているのです。

今月の聖句は、「山上の説教」というイエス様からの大切な教えの一つです。今月の聖句の少し前には、「あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子どもには良いものを与えることを知っている。まして、」と書かれています。また、今月の聖句の後には、「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい。」と書かれています。神様、そして、イエス様が、良い悪いに関係なく求める者に良い物をくださる方であることを、また、「あなた方も人にしなさい。」とおっしゃる方であることを知っていたサンタさん。イエス様のお誕生をお祝いしようとプレゼントを配っているサンタさんは、良い子、悪い子に分け隔てなくプレゼントをくださるのです。

私達は、神様からの「大きな愛」というプレゼントをいただいています。この喜びを多くの人々共に分かち合えるように

なればと思います。

6月聖句：天の父は求める者に良い物をくださる。

(マタイによる福音書7章11節)

音を重ねる日々は心を重ねる日々に-47



楽団あぶあぶあ&ミュージカルチーム
LOVE 代表ひがしの ようこさん

音を重ねる日々は心を重ねる日々に
-47 今月もお休み 演 浩一メン

楽団あぶあぶあでは秋の定期公演を予定しております。2011年11月6日(日)うはらホールで開催します。詳細が決まり次第追ってお知らせいたします。

東海道中五十三次 栗毛珍道中 第8巻

小野 勅紘メン

〔鎌ヶ毛織〕

〔竿耐織〕

《JR瘦炮ヶ毛》歩歩歩歩歩歩歩歩歩《JR澎竿耐》

日本橋～東戸塚:36.6km、23時間

保土ヶ谷～東戸塚間:4.4km、3時間

戸塚山中であわや、遭難か！

1. 保土ヶ谷から戸塚を目指す

5月の連休かつての御得意様のビルが建設以来25年近くになり、今迄の経営状況の検証のために、横浜に打合わせ取材に伺った。行脚は最後の日の5日を利用した。

前回2月末にJR保土ヶ谷(程ヶ谷宿)まで歩いたので、今回は戸塚宿を目指すことにした。5日の午後、JR保土ヶ谷を出立。保土ヶ谷駅の南、国道1号線から西に向う。途中権太坂から道は1号線を外れ独自の道を進む。権太坂まで順調であったが突然道が怪しくなってきた。何か団地群に紛れ込んだ感じた。晴れた日には富士が望めるという権太坂を下りていくと、「投込塚の碑」があった。この辺りでは、哀れにも往還に倒れた多くの人々の枯骨が昭和36(1

961)年の宅地開発時に発掘され、ここに供養碑が建立されたという。往時の旅の厳しさを物語る。このまま道を突き進むと私もその一員に入りそうなので、即座に踵を返して今来た道を権太坂まで戻った。日はとつぱりと暮れ、ようやくやって来たバスで何とかJR東戸塚迄行き、這這の体で新横浜からの新幹線で帰還した。

帰阪後の翌日、東海道の先輩、岡田メンから戴いた地図を確認しておけばよかったのには、神戸YMCA創立125周年記念行事でお会いした岡田メンの言葉。備えあれば憂いなしの言葉通りの無謀な行脚であった。

2. 34年前の戸塚でのアクシデント

さて、戸塚というと、私は一瞬34年前を思い起こした。当時東京勤務の私は新車を買ったので、その車で職場の仲間たちと伊東まで行った。伊東港に寄ると鰯などの小魚が陸揚げされていて、少し離れたところに鰯が1匹落ちていた。同行の課長が「あれ拾ってきて捌いてももらおうか」と言うので、私は拾って来て、その後行った小料理店で「鰯のたたき」に捌いてもらった。同行の女性たちは怪しがる食べなかったが、私とその課長で食したら、美味しかったのである。

しかし、その帰路が大変！GSに寄る度にトイレに駆け込んでいた。そんな大変な旅も終えて、課長を横浜の自宅に送り、女性たちは近くのJR戸塚駅から帰途に着いた。



保土ヶ谷辺り



権太坂辺り

私一人だけ新車を駆って東京に向ったのだが、戸塚あたり(丁度今回道に迷ったあたりか?)で、同じように道を間違えて宅地造成中の農地の泥濘に落ちてしまった。車輪が空回りしてどうしても抜け出せない。雨の中を苦戦していると、

その農地の主であろうか、「おーい、またお客さんだよ」という声とともに、一家で救出してくれた。今入浴したばかりのおばあちゃんまでが泥んこになって車を押してくれた。とくに深夜を回っていたが、私が幾ばかりかのお礼を渡そうとしても頑として受け取らない。終いには怒りだす始末に私は何度もお礼を行って帰還した。翌日些少のお礼の品を送らせていただいた。今回遭難せずに済んだのもこの皆さんがまたしても守っていただけたのだろうか。



水の流れるままに ♪ ♪

(俳句)

山野 直行(小野勅紘)

たまゆら

玉響の寝忘れ目覚め ^{へきこ}壁虎鳴く

(壁虎とはヤモリのこと。壁の虎とは言い得て妙である。最近暑くても我慢してクーラーを入れず節電に協力している<つもり>。夜は蒸し暑いと寝付かれなくてつい目が覚めてしまう。そんな時どこからか「キューキュー」という鳴き声が聞こえて来る。家の主のヤモリなのか、ヤモリさん、暑くてゴメンね。)

鎌倉の みほとけおわす ^{はくしよ}薄暑かな

(今年5月の連休は長年のお得意先である横浜のお客様を訪問した。会社とは随分と離れているのに不思議とお客様とは親しくさせて頂いているし、先方も便利なのか会社に言う前に私の方に言ってこられる。こんな場合、「もう私は会社を退職しているので、会社に言って下さい。」とは無碍に言えずお付合いは続いている。仕事に区切りが付いた5月4日お客様が、せっかく来たのだから鎌倉を案内して頂いた。初めて見る鎌倉大仏は涼しげだった。)

^{はくしよ}

薄暑にも 松は木の実に こぬか雨

(5月末、ある団体の全国大会で初めて新潟を訪れた。大会が終わって少し時間があつたので新潟港の方まで行ってみた。「芭蕉堂」や「坂口安五の句碑」などがあるというので寄ってみた。こぬか雨に煙る港は見えるはずの佐渡も乳白色で全く見えず。海岸公園に入ると蒼むした松林がうっそうとしていて、男の私でも怖いくらいであった。公園を出た護国寺の傍に、あの「横田めぐみさん」が拉致された場所で、情報提供を呼びかける案内板が立っていた。帰って来ない娘を待つご両親の心情はいかばかりか。帰って来ぬ待つこの身に雨は辛い。一昨年京都部会での横田早起江さんの声が思い起される。)



佐渡を臨む新潟港の西岸・この日は霧に覆われて視界ゼロ



鬱蒼とした芭蕉堂、坂口安五碑のある西海岸公園(護国寺境内)



この場所で、あの横田めぐみさんが拉致された現場であること、情報提供を呼びかける案内板

【今後の予定】

ドライバーの予定:

7月(岡田、清水)、8月(堤、山口(吉))、9月(浅野、小野)、10月(馬場(貴)、石井)、11月(足立、丸山)、12月(山本、小野)

60周年記念誌編集作業:第2・第4金曜中心

7月の予定:

1日(金)第二例会(兼役員会)西宮Y19時~
2日(土)第26回午餐会、講師:仙台YMCA村井伸夫氏、サイコー亭、12時、1500円、8日(金)第23回チャリティーワイン、サイコー亭、会費:6000円、9日(土)賀川デーシンポジウム、賀川記念館、14時、9日(土)六甲部第1回評議会、神戸YMCA 13:20~、15日(金)第一例会、西宮YMCA 保育園3Fホール、19時~、16日(土)近江八幡クラブ第一例会、16日(土)~17日(日)西日本区第1回役員会、ホテルクライトン新大阪、23日(土)東日本大震災支援コンサート、神戸栄光教会、14時、23日(土)会長・主査慰労会、好富、18時~、8000円、25日(月)シアトル交換プロジェクト、7.25~8.5、28日(木)広島クラブ第一例会、29日(金)~8月2日(火)ハワイIBCの旅

8月の予定:

3日(水)第二例会(兼役員会)西宮Y、19時~、4日(木)~8日(月)台湾アジア地域大会、12日(金)六甲部(西部)4クラブ合同納涼例会グリーンH神戸、会費:3000円、18日(木)広島クラブ第一例会、19日(金)六甲部(東部)4クラブ合同納涼例会、宝塚H、18:00~、会費:未定(兼第一例会)(幹事:さんだクラブ)、20日(土)近江八幡クラブ第一例会

東日本震災被災地を支援しましょ

う!



もりおかクラブ6月プリテンより(抜粋)

西宮ワイズメンズクラブ様来県

西宮クラブの会長、馬場様、山本様、浜崎様、3名が被災地のお見舞い、激励、そして今後の支援について具体的な行動を模索するために来県なされました。宮古ボランティアセンターを訪問後、現地の物産品を継続的に仕入れ、販売できないかと精力的に被災地を巡回なされました。また、西宮クラブ様は発達障害者に理解があり、宮古の授産施設も訪れ販売している商品も仕入れていただけとのことでした。6月21日には、盛岡市内にてもりおかクラブとの懇親会を開催、楽しい一時を過ごしました。

芦屋クラブ様寄贈、大型冷蔵庫が盛岡YMCA、宮古ボランティアセンターに冷蔵庫が到着

ボランティア活動も6月に入り、急に気温が上がり始めました。問題発生です、食料の保存が効かない。今まではそのへんに置いとけば天然の冷蔵庫で長持ちしていましたが、この気温ではそうは行かない。ボランティア活動に直接関係ない物品が欲しい。ここはワイズメンズクラブの登場以外にはないでしょう。もりおかクラブに購入依頼がきました。軽い調子で、「OK」と返事をしたものの、16万9千円、おっと簡単に出費できる金額ではないな。そうだ、芦屋クラブ様にお願いしてみよう。なんと図々しい発想な事か。それでも、芦屋クラブ会長様にメールを送信しお願いしました。早速、嬉しい返事をいただきました。「芦

編集後記

5年前(2004年7月~2007年6月の3年間に引き続いて、再びプリテンを担当することになりました。安心しておりましたので、聊か慌てております。それも急遽7月から担当することになりました。プリテンを担当すると出席率が良くなる(出席せざるを得なくなる)ということです。疑問があっても、見聞きしている内に勉強にもなりました。従ってプリテン担当者は若い活力のある比較的新しいメンバーに担当して欲しいと思います。プリテンその物は言わば会長のプレーンの役目も担っているのです。以前はプリテン作業例会が第4金曜にもあり、250部の印刷から発送作業でしたが、昨今はIT化の進歩のお陰で軽減されるようになりました。しかしメンバー全員が原稿を担い、メンバー全員がその実現者であることには変わりはありません。皆さんにもその一翼を担って頂きたいと願っております。

8月号以降の新しい試みで、新規入会された方々の原稿を順次お願いしていこうと思っています。内容としては、「ワイズメンズクラブに入会して」という共通の課題を中心に、お仕事、ご家族(お子様、お孫さんを含む)、趣味、目指す夢、リーダー時代の思い出、など何でも結構です。予定としては、8月号(7月末):藤原ウイメン、9月号(8月末):馬場(貴)メン、10月号(9月末):石井ウイメン、11月号(10月末):万本メン、12月号(11月末):山口(吉)メンの順です。ご準備下さい。

(プリテン委員長 小野 勅紘)

理事通信



VOL.17月号 2011年7月1日発行

ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献



*Contribute to the Community
through Active Services with Love*

埋怨を日指して発平と行動！

西日本区理事 浅岡 徹夫



新年度スタートにあたり。

ワイズメンズクラブでは、7月1日からいよいよ2011 - 2012年度が開始され、全てのクラブや部で新しい役員体制でキックオフが行われていることでしょう。西日本区としても、京都西日本区大会での役員引継ぎを終えて、新年度の事業委員会や主査会議が行われ新しい体制での活動が開始されたところです。

今年3月11日に東北・関東地域を襲った東日本大震災は、かつて経験したことのない地震、津波、原発事故という重大災害が重なり、その被害の深刻さと範囲の広さは言葉に言い尽くせません。西日本区の私達も全力で東日本の被災者支援、復興支援に当たる責務があります。その前提で西日本区理事としての今年度の最重要課題は次の3点です。

1つはまず地域奉仕や環境問題への積極的な取り組み。特に東日本大震災に対する継続的支援を行うこと。また大震災で親・兄弟を亡くした子供たちへの支援に努めること。

2つ目はYMCAを支援して青少年の健全育成を図ると共に、YMCAと連携して被災者支援その他、地域社会への貢献を積極的に果たすこと。

3つ目は、クラブの活性化や例会の充実、会員相互の親睦・交流・研鑽を深め、ワイズの会員であることの自信と誇りを持って会員の増強を図ること。

今年度の西日本区理事主題は「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」としましたが、今回の東日本大震災はまさにこの{愛と奉仕}の大切さを改めて私達に知らしめたと思います。文明の利器や経済性よりも、人の命や地球環境の大切さ、地域社会の中で互いに思いやり助け合うことの重要性など本質的な価値に気付かされたのではないのでしょうか。

また今回の大震災支援活動を通じて、ワイズメンズクラブに属することの強みと誇りを改めて感じる事が出来たと思います。大震災発生直後からYMCAは積極的に現地で活動を開始しています。

一方東西日本区のワイズメンズクラブはYMCAと情報交換し、各地で集めた救援物資をいち早く被災地YMCAに届け、YMCAからはその迅速な行動に高い評価と賞賛をいただきました。その後も各地でYMCAと一緒に街頭募金を進めるなど、ワイズとYMCAが連携して大震災支援に力を尽くす姿は、他では見ることのできない素晴らしい頼もしいチームプレイです。また東西日本区はもちろん、世界中のワイズメンズクラブが、また世界中のYMCAが東日本大震災への援助の手を差し伸べ、励ましの言葉を送ってきているのです。私達ワイズメンズクラブは、またYMCAは何時も温かい手で世界中が結ばれているではありませんか。苦難の時に本物の「愛と奉仕」が輝きを見せると信じています。

今年度、どうぞよろしくお願ひいたします。